

長野県社保協第23回総会 公開講演会

「社会保障制度改悪の本質と

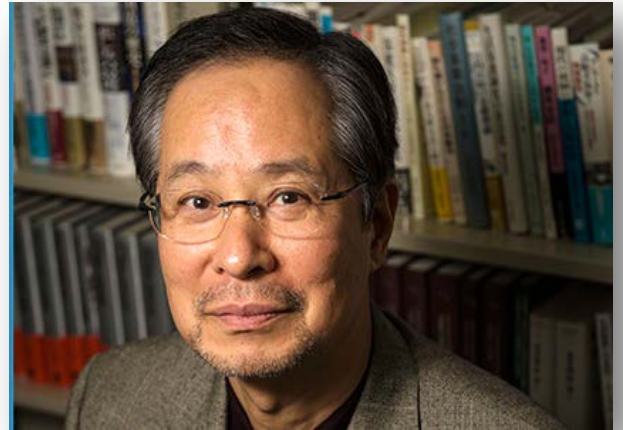
日本の目指すべき社会保障制度」

～イギリスの社会保障制度に照らして～

講師

唐鎌 直義氏

立命館大学産業社会学部
現代社会学科教授



2018年通常国会＝改憲、社会保障削減国会？

1月22日開会した196通常国会。9条改憲の国会発議が狙われています。2018年度予算案は、社会保障を次々に削減、破たんした「アベノミクス」を進めながら「格差と貧困」をさらに拡大しようとしています。また、軍事費を突出させ予算の面で「戦争する国」づくりを推進する内容です。このままで本当によいのでしょうか。

唐鎌先生は、「貧困の除去(すべての人々に対する最低生活の保障)という観点から日本の社会保障を再構築すること」を自身の研究テーマにしておられます。80年代に長野県の高齢者生活実態調査等にも携わり、日本の貧困問題の調査研究を重ねてこられました。近年は、国民生活の実態を統計データ等で実証し、社会保障制度の政策に結びつける研究を重ねておられます。イギリス社会保障の制度や理論に造詣が深く、そうした立場から日本の目指すべき社会保障に提言していただきます。

日時

2018年2月17日(土)

13:00～15:30 (開場 12:30)

会場

長野県教育会館 3階ホール

長野市旭町 1098 / TEL 026 - 235 - 6995

- ★徒歩 長野駅善光寺口より徒歩約20分
- ★バス
JR長野駅善光寺口バス乗り場から
- ①川中島バス「善光寺方面行」乗車
大門南下車 徒歩約5分
- ④市内循環バス「ぐるりん号」乗車
合同庁舎前下車 徒歩3分
- ★電車 電鉄長野線「権堂」下車徒歩10分

